

平成30年度リサイクルリーダー研修会にて出たご意見  
 (8/29;第一地区コミュニティセンター、9/10:小松市役所、9/26:小松サン・アビリティーズ まとめ)

2018.10作成 小松市エコロジー推進課

キーワード	問題点・苦労している点	良い意見・改善点	市の対応
高齢者	高齢者のごみ出しマナーが悪い(悪くなってきた)	老人会でのごみ出し研修会	市の出前講座やごみ分別ボードの展示など様々な啓発ツールを用意しておりますので、町内会、老人会、女性会など様々な場面でご活用ください。
	びんのフタが取れない(酢のビンのフタがちぎれない)		
集合住宅	入居者の入れ替わりが早く、上手く周知ができない		アパート事業者へ今回の研修会において町内会で起こっている問題などを伝えるとともに、アパート入居者に対して小松市のごみ分別についての啓発チラシを配布し、継続的に周知・徹底を依頼しました。
	ごみの分別ができていない		
	アパートに無線放送がついておらず、周知ができない		
	アパート退出時に大量のごみが捨てられる		
ごみの減量化	指定袋導入時は盛り上がったが、今は盛り上がりに欠ける		2020年までに可燃ごみの量を50%削減(2008年対比)を目標に取り組んでおります。2016年に「小松市指定ごみダイエット袋制」を導入し、現在までに24%の削減となっております。今後一層、町内会様、企業、市民団体などと協力・連携し、目標達成に向け取り組んでいきたいと思っております。
	ごみは減ったが、それ以上に減らすのは難しい		
違反ごみ	埋立てごみと破碎ごみの区別が難しい	回覧板で違反ごみの写真(事例)をまわす	ごみの分別がわからないなどの声があり、市ではごみの分別について気軽に理解していただくために様々な取組みを実施しています。 ①ごみ検索サイト「ごみサク」の開設・・・携帯、パソコン等でサイトにアクセス。質問すれば答えが出るチャット方式。 ②ごみの分別DVD作成(プラスチック製容器包装編、ごみの分け方・出し方編)・・・町内会等に対し配布・貸出を実施しています。ユーチューブでもご覧頂けます。 ③ごみの分別ボードの貸出・・・ごみの実物を分別ごとに分かりやすくパネルに貼付けました。 ④ごみ出しの手引きカラー版に改定・・・見やすさを重視し作成。ポルトガル語版もあります。 ⑤ごみ出しかレンダーの見直し・・・見やすさ・分かりやすさを重視。日頃より寄せられるご意見を基にし、毎年内容の見直しを行っています。 ⑥こまつ広報「ごみナビ」の掲載・・・毎月ごみ出しのワンポイントを掲載。季節の話題であったり、よく寄せられるご意見などを掲載しています。
	不法投棄の増加。立ち番で対応	ごみ収集が終われば掃除して、施錠する。全世帯が参加で、ごみに対する関心が高まる。連帯感。	
		町内の皆さんの協力で、集積場が清潔に保たれている	
		町外、時間外の対策としてはカギかけがよいのではないかと	
		中を開き、どのようなものが入っていたかなど、こと細かく無線放送する。	
		ごみの収集日前日に事前に無線放送。事前に注意喚起(よくある間違いをコメント)	
		違反ゴミを出した方へは、怒ってはだめ。穏便に。ケンカはしない。協力してもらおう。	
外国人	外国人への対応(言葉が通じない)	言葉の壁はあるものの、外国人の雇用主や本人に根気強く伝えていくうちになんとなく伝えることができた。	集積場に貼付するなど、誰にでもわかるごみの分別パネル(別紙看板見本参照)を作成しました。ラミネート加工(A3サイズ)したものをお渡しできます。市エコロジー推進課までお問合せください。
防犯カメラ	防犯カメラ設置費、管理も大変	防犯カメラを設置したら、違反ごみが激減	景観配慮型ごみ集積場設置事業補助金を受ける際、防犯カメラ設置費も補助対象とすることができます。
		ドライブレコーダーを設置(安価、管理が楽)	
マーキング制	取り残しになったごみには、マーキングしていない	可燃ごみ以外にもマーキング制を実施し、マナーがよくなった	平成28年10月市指定ごみダイエット袋制導入時にマーキング制を導入しました。2年が経過し、各町内会では、継続、廃止、可燃ごみに限らず容ブラなどにも実施など、様々な町内会が見受けられました。
その他	当番の割り当ても、高齢者はだめ、共稼ぎの若い世代も難しい。	当番が、ごみ出しの間、見張りをする(1時間)	ごみの実物を分別ごとに展示した「ごみ分別ボード」を準備しております。町内でのイベントなど町民が集まるような時に展示することで、気軽に知ってもらうことができます。貸出を行っています(1畳分の大きさ)
	役をする人数が少なく、手いっぱい。	集積場の当番は、町内から手当を支給してやってもらっている。	
	何ごみで出せばいいのか迷い、結果取残しになる	分別ボードで気づくこともある。手引きはとても役立つ	
		年1、2回は市の出前講座を実施するなどし、マナーがよくなった。 ごみ出し時間を30分に限定。(19:00~19:30) リサイクルリーダーとの意見交換はとても重要	

目指せ！2020年までに、可燃ごみ50%OFF！（2008年ごみ量対比）2025年までに、リサイクル率33%！